

え



え

江戸道は

座間から歩いて

十三里

江戸街道

江戸道（江戸街道）は、小田急相武台前駅西口の府中街道（町田・厚木線）との接するところから始まり、踏切を渡り、相模野小学校北側を通り、相模原市、大和市をぬけ、横浜市長津田で大山街道へ合流して、江戸（東京）へ向う道のことです。

江戸時代には、座間の名主たちは江戸へ年貢を納めるため、十三里（約五十二キロメートル）の道のりを約十四時間かけて旅したそうです。

え